

THE CARTER CENTER



Waging Peace. Fighting Disease. Building Hope.
(平和を行い、疾病と闘い、希望を築く)

カーターセンターは、1982年に元アメリカ合衆国大統領ジミー・カーター、夫人のロザリーン・カーターによって設立された国際NGOです。全世界70カ国以上で、民主主義や人権、経済参加の機会向上、あるいは疾病予防や精神疾患問題の改善、農村改革を通じて、平和活動を展開しています。

Peace Programs

カーターセンターは、抑圧と紛争という過去を克服しようと試みる国々に、公平な社会を取り戻す助けとなるような、実践的な手段を模索しています。

民主主義の強化

各国政府からの招請と市民社会との協力のもと、カーターセンターは途上国における選挙監視に長年携わってきました。世界中で選挙監視の先導的役割を担うセンターは、国際基準に基いた民主的選挙が遂行されるよう、不正の無

「世界中どの国の人々も、暴力や疾病、貧困や不正の無い世界を夢見ています。25年以上の間、カーターセンターは人々と手を取り合っこの問題に取り組むことで、この『希望』を広げてまいりました。センターのスタッフは、地域に即した支援を目指し、その土地の人々の生活環境改善に取り組んでいます。

生まれて初めて一票を投じること、村を壊滅に追いやるような疾病を撲滅すること、平和を期待し武力解除すること、こうした新たな『希望』が世界中で生まれています。我々の全活動は、平和で、抑圧されることの無く、十分な食事や住居、健康管理体制や経済に参加する機会を得るという、基本的人権の信念に基づいているのです。」

Rosalynn Carter

Jimmy Carter

い、投票者の秘匿性を重んじた選挙監視を展開しています。

自由選挙が、すぐに民主化をもたらすとは限りません。しかし、民主主義に基づく選挙活動を行うことで、政府の透明性を増し、社会の不平等を減らした、政治腐敗の無い社会を目指すことができる

のです。カーターセンターは特に西半球での民主主義の強化、中国における地方選挙の実施と情報の自由に対する勧告に取り組んでいます。

人権の向上

カーターセンターは様々な形で人権を推進し、擁護する活動を行



ナイジェリアご訪問中、住血吸虫症で苦しむ子供たちを見舞われるカーター大統領ご夫妻



左：ネパールにて、人生初の民主的選挙で一票を投じる男性。

中央：スーダン南部、ギニア虫（メジナ虫）を通さないパイプフィルターで水を飲む山羊飼いの少年。カーターセンターは20年もの間、この消耗性疾患の撲滅に取り組んでいる。



上：カーターセンターは1988年以来、地方選挙の実施と情報公開の自由を勧告することで、中国での民主主義の基盤を作る活動を続けている。

下：グアテマラ、チカカオ地区にて、河川盲目症の発症を抑えるメクティザンという錠剤を服用する子供。カーターセンターは、中南米4カ国の僻地に未だはびこる河川盲目症を廃絶すべく取り組んでいる。

っています。例えば、人権保護活動家に活動の場を与え、彼らの国で人権がどのように扱われているかという主張を、政策立案者や一般市民に届けています。また、人権向上のため奮闘し、その結果迫害されている人権擁護者を支援しています。また、国際連合における国際人権制度の改革を奨励することで、国際人権制度の強化に取り組んでいます。

紛争の予防と調停

戦争と内戦は、持続可能な発展と基本的人権を大幅に妨げるものです。カーターセンターは、武力紛争を予防解決し、長期的な平和を築く土台を構築しています。紛争地区の歴史や当事者の主張を理解し、解決に至るよう支援すべく、世界中の武力紛争地区に監視を置いています。



リベリア・バルンガ近郊レレ地区の農民に挨拶する、ポンド青少年協会代表、エマニュエル・クウィナ。カーターセンターは地域社会を拠点とする団体と協力し、リリアの人々に法の支配に関する教育を行っている。

Health Programs

カーターセンターは、予防できるのにもかかわらず、周囲から見放された環境で疾病に苦しむ、何百万もの人々を支援しています。特に『顧みられない疾病』と呼ばれる疾病の予防を最優先に取り組み、可能な限り撲滅を目指しています。センターの専門家に養成された現地の保健スタッフが各地域の住民を指導し、健康状態を改善することから、彼らの生活環境改善に取り組んでいます。

疾病の感染予防と抑制

カーターセンターでは、激しい痛みとそれによる衰弱をもたらす寄生性疾病であるギニア虫（メジナ虫）の、国際的な撲滅運動を続けています。センターは他の国際機関との協力のもと、1986年の撲滅運動開始以来、99.9%のギニア虫撲滅に成功しました。またギニア虫撲滅運動に加え、河川盲目症、トラコーマ、マラリア、リンパ管フィラリア症、住血吸虫症の撲滅や予防にも取り組んでいます。こうした疾病を予防すべく、アフリカや中南米の政府と協力して、長期的に疾病問題に取り組んでいます。疾病治療はもちろんのこと、疾病予防のため、地域に根ざした教育も行っています。

地域に即した支援制度

疾病予防を発展させるために、カーターセンターは徹底して地域に即した支援活動を行っています。例えば、エチオピアの農村地区での活動は、エチオピア政府と

の連携によって、保健局の職員の大幅な増加や、教育機関での彼らへの教育を行っています。エチオピアが模範となり、保険医療スタッフが欠乏するその他アフリカ諸国においても、こうしたカーターセンターの制度が導入されています。

精神疾患問題の改善

カーターセンターでは大統領夫人ロザリーン・カーターの指導のもと、精神疾患に対する公共政策改善に取り組んでいます。年二回のフォーラムでは、アメリカ国内の専門家が集結し、議論を通して精神疾患問題の解決策を提案します。また、アメリカ国内外の精神疾患問題に取り組むジャーナリストを支援しています。

THE
CARTER CENTER



Waging Peace. Fighting Disease. Building Hope.

The Carter Center
One Copenhill
453 Freedom Parkway, Atlanta, GA 30307
Phone: +1 404 420 5100
Fax: +1 404 874 5515
www.cartercenter.org

Curtis Kohlhaas
Chief Development Officer
Phone: +1 404 420 3448
Mobile: +1 404 387 2245
Fax: +1 404 420 3453
Email: curtis.kohlhaas@emory.edu